

## 熊本学園大学論集「総合科学」の執筆及び 投稿に関する内規

**第1条** 熊本学園大学論集「総合科学」(以下「本誌」という。)の執筆及び投稿については、この内規の定めるところによる。

**第2条** 本誌に投稿できる者は、熊本学園大学論集「総合科学」の編集及び刊行に関する規程(以下「規程」という。)第5条の各項に該当する者とする。

**第3条** 本誌に投稿できる著作は、規程第6条にいう6種とする。

**第4条** 本誌に刊行された著作は、規程第7条に基づき査読を行うものとする。

**第5条** 特別号の発行は、次によるものとする。

- (1) 退職記念号は、本学の専任教員が満15年以上勤務し、定年退職した場合に発行する。
- (2) 追悼号は、本学の専任教員が満10年以上勤務し、在任中死亡した場合に発行する。
- (3) 周年記念号は、評議員会が記念号を企画した場合に発行する。

**第6条** 投稿原稿は、邦文・中国文の場合400字詰原稿用紙60枚まで、欧文・その他の場合タイプ用紙(A4・ダブルスペース)で30枚までとする。

2 前項の制限枚数を著しくこえる投稿原稿については、編集委員会(以下「委員会」という。)の議を経て、受理することができる。ただし、その掲載については分割掲載されることがある。

**第7条** 寄稿にあたっては、次の点に留意しなければならない。

(1) 表題

ア 表題に用いる用語は、本文に用いた言語とする。

イ 本文が邦文・中国文の場合には、国際的に広く通用する言語による表題を付記しなければならない。

ウ 本文が欧文・その他の場合には、日本語による表題を付記しなければならない。

(2) 著者名

ア 本文が邦文・中国語文の場合には、著者名は漢字等とし、ローマ字による著者名を付記しなければならない。

イ 本文が欧文・その他の場合には、著者名はローマ字とし、漢字等による著者名を付記しなければならない。

(3) 自然科学の論文等

邦文・中国語文、欧文・その他の別なく、英文のAbstract(600 Words 以内)を本文の後ろに記さなければならない。

(4) 人文科学・社会科学の論文等

- 邦文・欧文・その他の別なく、邦文の要約（600字以内）を本文の前に記し、英文・その他による Summary（200 Words 以内）を本文の後ろに記さなければならない。  
ただし、規程第6条でいう研究ノート・研究資料・翻訳についてはこの限りではない。
- (5) 注・参考文献等は、本文の後、Summary の前に一括して記すものとする。
  - (6) 本誌の版型は A4 とし、縦組み・横組みについては、投稿者の希望に添うものとする。
  - (7) 図・表・地図・写真等は、刷り上がりが最大 1 ページ内に入るよう工夫しなければならない。
  - (8) 挿図等は、著者が白紙または方眼紙に墨書きし、縮小率を指定しなければならない。
  - (9) 本文中の数字は、原則としてアラビア数字とする。

**第8条** 校正は、投稿者が行い、原則として三校までとする。

- 2 校正時における大幅な原稿挿入及び書換えは、原則として認められない。
- 3 委員会が指定する校正期間は、厳守されなければならない。
- 4 上記の各項が守られないときは、委員会は、その判断に基づき、当該号への不掲載も含む必要な措置をとることができる。

**第9条** 原稿の締切日は、委員会が決定し、発表する。

- 2 投稿原稿の受付日は、委員会に提出された日とする。
- 3 投稿原稿の受理日は、当該投稿原稿が受付日から本誌に掲載を許可されるまでの間に、補筆・修正のあと、委員会にあらためて提出された日とする。

**第10条** 寄稿者には、別刷り 10 部を交付する。

**第11条** 本内規の改廃は、評議員会が行う。

#### 附 則

- 1 本内規は、1994 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正は、2014 年 4 月 1 日から施行する。